

ローザンヌ国際バレエコンクール・日本予選 2022 参加要項
PRIX DE LAUSANNE JAPAN PRESELECTIONS 2022
RULES AND REGULATIONS

1 開催の期間・場所

ローザンヌ国際バレエコンクール・日本予選は、スイスのローザンヌに本拠を置く舞踊振興財団 “FONDATION EN FAVEUR DE L'ART CHOREGRAPHIQUE”主催により開催される。

・開催期間・・・2022年10月1日（土曜日）・10月2日（日曜日）

・開催会場・・・後日発表

・メール問い合わせ先：contact@prixdelausanne.org

Tel.: +41 21 648 05 25

www.prixdelausanne.org

芸術監督・事務局長：Mrs Kathryn Bradney

2 審査員

ローザンヌ国際バレエコンクール・日本予選の審査員は、ダンス界に於いて国際的に活躍する著名な方々により構成される。

3 ローザンヌ国際バレエコンクール・日本予選の目的

才能豊かな若いバレエダンサーがプロへの道に踏み出すことをサポートする。ローザンヌ国際バレエコンクール・日本予選で選出された2～4名が2023年ローザンヌ国際バレエコンクールに無償で参加できる権利を授与される。

4 参加資格

オンラインレジストレーションは2022年6月1日から6月30日とする。

生年月日が2004年2月5日～2008年2月4日、日本国籍（在住含む）バレエの生徒全てに参加資格がある。

ダンサーとしてカンパニーと現在プロ契約中である者、過去にプロ契約を結んだことのある者の参加は認められない。

当コンクールの参加登録を行ってから出場するまでの期間に、カンパニーのフルタイムの有給研修生を含むプロ契約に内定した者は参加を辞退すること。（スイスの法律において“契約の内定”とは書面／口頭で正式に受けた契約の依頼を了承したケースを差す）アマチュアであることが条件であり、多少なりとも自身のコンクール参加条件に確証が無い場合は必ずローザンヌ国際バレエコンクール事務局に申し出て審査を仰ぐこと。

*教育の一環として、参加者が所属するスクールによって開催された公演に対する報酬を受け取ったケースは例外とする。その報酬はその国の法律に基づいて支払われていた必要がある。過去にこのような支払いを受けた参加者は、ローザンヌ事務局へ登録期間中に申し出ること。

規定に反する何らかの虚偽があった場合、該当者は失格となり、受賞者であった場合は、賞の取り消し、賞金の返還が求められる。ローザンヌ国際バレエコンクールはその受賞の取り消し事項について公表する。該当者は失格の事実を述べずに、当コンクールへの参加経験について語る権利はない。

ローザンヌ国際バレエコンクール・日本予選の出場者が、不調や怪我などによって出場が不可能となっても、主催側は関知しない。開催期間中の怪我、病気、盗難について主催側はその責任を一切負わない。自己責任のもとで事故・病気・盗難に備えて保険等の準備をすること。



■ビデオ選考申し込み

ビデオ選考に向けて、参加希望者は登録料 **150 スイスフラン**を支払う。（払い戻し不可）オンラインでのクレジットカードによる支払いのみ受理される。最終支払い期限は **2022 年 6 月 30 日**。

■支払い方法

当コンクールのホームページから参加登録をする際に、登録フォーム（registration form）より**クレジットカード**で支払う。

東京から東京までの往復の旅費及びコンクール期間中の宿泊費は参加者の負担とする。

「ローザンヌ国際バレエコンクール・日本予選 の概要」(Prix de Lausanne Japan Preselections 2022 Procedure)の内容を把握した上で登録を行うこと。

5 健康概念について

当コンクールは、若いダンサーが自身の才能と可能性がプロのダンサーへの道に繋がるものであるかを判断する為の援助に努めている。また、優れたダンサーとは、肉体的・心理的に良好な状態になくはないという概念を支持している。クラシック・バレエの美的基準が細身のダンサーを要求しているというのは事実ではあるものの、教師、両親そしてダンサー自身が、健康を犠牲にするほどまでにこの美的基準に過度な重要性をおかないように十分に配慮する必要がある。

健康とダンスの秀逸さにおける関係を明確にするために、当コンクールのコンサルタント医師が、健康状態についてのアンケートを作成した。その回答により、参加者がコンクールの厳しさに耐えられるかどうかをコンサルタント医師が判断する。アンケートは、スイスで行われるローザンヌ国際コンクール（本選）への登録では必要事項に含まれる。今回の日本予選の最終結果で、スイスでの本選に選出された方は、かかりつけの医師とともに必要事項を記入して提出することとなり、10 月中にコンクールのコンサルタント医師に送信される。回答の送付は、2023 年開催のローザンヌ国際バレエコンクール登録へのプロセスの一部をなすものとする。

スイスでの本選に向けて、健康面・身体状態全般について何か問題があると思われる参加者に対して、コンサルタント医師には参加を許可するか否かを決定する権限がある。

コンサルタント医師により健康上の問題が懸念されながらも参加を許可された参加者は、本選開催地（スイス）到着時、またコンクール期間中に、コンサルタント医師と面談を行い医療チェックを受ける。参加者自身が承諾した場合、その家族あるいは付き添い教師はコンクール参加続行が可能かどうか判断される診断に同席することができる。

どのケースにおいても、当コンクールのコンサルタント医師の決定を最終決定とする。

6 申し込みの締め切り日程

参加申し込みの締め切りは、**2022 年 6 月 30 日**。ホームページ上のオンラインフォームに必要事項を全て記入し、ビデオのアップロードと登録料の送金を完了することによって登録が受理される。

各参加者には 2022 年 7 月 15 日に結果が通知される。選ばれた参加者は、兵庫に来て日本予選に参加する。

詳細は「ローザンヌ国際バレエコンクール・日本予選 の概要」(Prix de Lausanne Japan Preselections 2022 Procedure)を参照すること。

7 付き添いの方のアクセスについて

決選は一般公開される。詳細は「ローザンヌ国際バレエコンクール・日本予選 の概要」(Prix de Lausanne Japan Preselections 2020 Procedure)にあるスケジュール表を参照のこと。録画及び撮影はローザンヌ国際バレエコンクール公認の取材関係者のみ許可されている。それ以外の撮影は全て禁止されており、違反の際は、カメラ・携帯電話・その他の録画ツールは没収される。

8 舞台の広さ

劇場の舞台は、幅 23.5m × 奥行き 19.5m である。

9 参加回数について

過去にローザンヌ国際バレエコンクールでスカラシップ賞・プロ研修賞を受賞しなかった者は、年齢制限の許す範囲で、何度でも参加の申し込みができる。



10 写真、録画、視聴覚記録およびその使用について

コンクール参加者によるバリエーションや活動全般を記録したあらゆる写真・録画・視聴覚記録は、その記録媒体及び方法の如何に関わらず舞踊振興財団の独占的所有物となる。舞踊振興財団の書面による許可なしには、コンクール参加者によるバリエーションや参加者の活動全般のいかなる視聴記録も行われてはならない。参加者は、舞踊振興財団またはその委託を受けた第三者が作成するあらゆる上記の記録・複製・公開・配布・放映・上映（舞踊振興財団のホームページ www.prixdelausanne.org での公開を含む）に関する権利を放棄する。参加者は、記録が第三者の広告も含め、いかなる製品やサービスを宣伝する商業目的で使用されうることを知り同意する。参加者は、ローザンヌ国際バレエコンクールの受賞者及び決勝進出者へ贈られる賞のスポンサーが、前述記録の一部あるいはすべてを宣伝に使用することに合意する。参加者は、前述の権利を舞踊振興財団へ、永久的かつ変更不能に、地理的・時間的制限なく付与する。参加者は、舞踊振興財団または上述の記録を使用する第三者に対して、財団に付与した権利に関して、いかなる種類の要求、支払い、報酬、経費還付、その他の代償を受ける権利を放棄する。当財団の実行委員会が、TV局あるいは個人との契約を単独に決定する。

11 決定機関

舞踊振興財団“FONDATION EN FAVEUR DE L'ART CHOREGRAPHIQUE”の取締役会のみが、コンクール規則から逸脱した例外事項への最終決定をする権限を持つ。

ローザンヌ国際バレエコンクール・日本予選の審査員による選考、決選、賞の決定は、それを最終決定とし、申し立ては一切認められない。

日本予選の審査員は自らが関わるスクールから参加する生徒、身近で練習に携わった参加者についての審議はしない。

12 賞

ファイナリストの中から2～4名に2023年ローザンヌ国際バレエコンクール（本選）への参加資格・参加費・コンクール開催地への渡航費用が授与される。渡航費は受賞者の分のみ。

全てのファイナリストは2023年ローザンヌ国際バレエコンクール（本選）へのビデオ審査に無料で申し込むことができる。

13 賞の授与について

決選の結果、12で示した賞を授与するか、しないかは、審査員によって決定される。舞踊振興財団“FONDATION EN FAVEUR DE L'ART CHOREGRAPHIQUE”によって他の賞が設置される場合は、舞踊振興財団理事会が決定する